

特別展

熱い絵画

大橋コレクションに見る 戦後日本美術の力

2020年4月18日[土]—7月5日[日]

主催 奈良県立美術館
会場 奈良県立美術館

特別協力=国立国際美術館、
京都工芸繊維大学美術工芸資料館

- 赤穴宏
- Akama Hiroshi
- 堂本尚郎
- Donoto Hisao
- 江見絹子
- Eri Kinuko
- 古沢若美
- Furusawa Wami
- 今井俊満
- Imai Toshimitsu
- 今中クミ子
- Imanaka Kuminiko
- 磯辺行久
- Isobe Yukihisa
- 岩崎巴人
- Iwasaki Hajin
- 桂ゆき
- Katsura Yuki
- 川端実
- Kawabata Minoru
- 菊畑茂久馬
- Kikuhata Mokuma
- 工藤哲巳
- Kudo Tetsumi
- 久野真
- Kuno Shin
- 草間彌生
- Kusama Yayoi
- 前田常作
- Maeda Josaku
- 宮脇愛子
- Miyawaki Aiko
- 水谷勇夫
- Mizutani Isao
- 元永定正
- Motonaga Sadamasa
- 長崎真人
- Nagasaki Bakujin
- 難波田龍起
- Nanabata Tatsuki
- 野村耕
- Nomura Ko
- 大野傲高
- Ono Hidetaka
- 小野悠弘
- Oro Tadahiro
- 小山田二郎
- Oyamada Jiro
- 下村良之介
- Shinomura Ryonosuke
- 白髪一雄
- Shiraga Kazuo
- 須田剋太
- Suda Kokuta
- 杉全直
- Sugimata Tadasahi
- 田中田鶴子
- Tanaka Tazuko
- 鶴岡政男
- Tsurunaka Masao
- 津高和一
- Tsutaka Wachi
- 上田臥牛
- Ueda Gogyu
- 湯田寛
- Yuda Hiroshi



白髪一雄「真宗」1961年 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

Power of Painting: Selections from the Ohashi Collection | April 18 - July 5, 2020 | Nara Prefectural Museum of Art

〈関連展示 第6展示室〉奈良の現代作家—館蔵品から(井上武吉、絹谷幸二、田中敦子、ほか)
〈宇陀市による連携展示 1Fギャラリー/入場無料〉井上武吉と生誕地・室生の聖なる文化

後援: NHK奈良放送局、奈良テレビ放送株式会社、株式会社奈良新聞社、西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、阪神電気鉄道株式会社、奈良交通株式会社、奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、株式会社南都銀行、(一社)日本旅行業協会、(一社)全国旅行業協会奈良県支部、(一社)国際観光日本レストラン協会、(一財)奈良県ビジターズビューロー、(公社)奈良市観光協会、奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合

奈良県立美術館 〒630-8213 奈良市登大路町10-6 Tel 0742-23-3968 Fax 0742-22-7032
近鉄奈良駅1番出口から徒歩5分、JR奈良駅から奈良交通バス「県庁前」下車
ホームページ <http://www.pref.nara.jp/11842.htm> テレフォンサービス 0742-23-1700
ツイッター <https://twitter.com/ArtemuseumN> フェイスブック <https://www.facebook.com/narakenmuseum>

開館時間: 9時~17時(入館は閉館の30分前まで) 休館日: 毎週月曜日(5月4日は開館)と5月7日(木)
観覧料: 一般=800(600)円、大・高生=600(400)円、中・小生=400(200)円 カッコ内は20人以上の団体
身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と介助の方1人、外国人観光客
(長期滞在者・留学生を含む)と付添の観光ボランティアガイドの方は、無料でご覧いただけます

「大橋コレクション」は日本の現代美術を支援した プライベートコレクションの先駆的存在

大阪・京都・奈良の3館で収蔵する約2,000点から選んだ90点を展示
戦後昭和に躍動した画家たちの熱いエネルギーを感じてください



桂ゆき
「大きな木」1946年
奈良県立美術館

岩崎巴人
「飛び越える馬」1960年
奈良県立美術館

津高和一
「対話」1958年
奈良県立美術館

近代以前から美術においてパトロン(支援者)とコレクター(収集家)の役割は欠かせません。関西の企業家・化学者、大橋嘉一氏(1896~1978)は1950年代後半から1970年代初めにかけて日本の現代美術を積極的に収集しました。一方、1953年に東京藝術大学へ寄附をして「大橋賞」を設置するなど(現在は「O氏記念賞奨学金」として継承)、コレクターとしてもパトロンとしても日本の美術を支えました。

約2,000点にのぼる大橋コレクションは、氏の没後、奈良県立美術館と国立国際美術館そして氏の母校である京都工芸繊維大学美術工芸資料館に分割して寄贈されました。3館に分散した大橋コレクションが(その一部とはいえ)一堂に会するのは今回が初めてで、本展は戦後日本絵画の秀作90点を紹介するものです。

第二次世界大戦終了後の荒廃と混乱の中から再出発をした日本の美術は、特に1950年代以降、古い価値観から脱却して新しい表現を求める模索や実験が続き、美術界全体が大きく揺れ動きました。そのような1950~60年代の《熱さ》を本展の作品群から感じとっていただきたいと思えます。

日本現代美術のプライベートコレクションという点、1950~80年代の作品を集めた「山村コレクション」や、1990年代以降の作品に集中した「高橋コレクション」などが知られています。大橋コレクションは、日本現代美術への眼力と愛情で築かれたプライベートコレクションのまさに先駆的存在と言えるでしょう。

◆関連展示(第6展示室)

「奈良の現代作家—館蔵品から」

「大橋賞」の受賞者のうち、奈良県出身の絹谷幸二や金森良泰の作品を当館では所蔵しています。さらに奈良県

ゆかりの現代美術作家では井上武吉や田中敦子の作品も所蔵しており、田中敦子は白髪一雄・元永定正と並んで関西の前衛美術集団「具体美術協会」を代表する作家の一人です。

◆講演会「戦後日本の前衛美術と大橋コレクション」

講師:平井章一氏[関西大学教授]
日時:5月17日(日)14時~(約90分)
場所:当館1Fレクチャールーム(80席・先着順)

◆美術講座「現代美術、その多様性」

講師:安田篤生[当館学芸課長]
日時:6月7日(日)14時~(約90分)
場所:当館1Fレクチャールーム(80席・先着順)

◆当館学芸員によるギャラリートーク

4月25日・5月23日・6月20日・7月4日(いずれも土曜)
14時から展示室にて(約60分)
※以上のイベントへのご参加には観覧券が必要

◆宇陀市による連携展示<1Fギャラリー/入場無料>

「井上武吉と生誕地・室生の聖なる文化」
戦後日本彫刻の大家として活躍し、芸術選奨を受賞した井上武吉(1930-97)とその故郷・宇陀郡室生村(現・宇陀市)の魅力を紹介。

◆ミュージアムコンサート(入場無料)

会期中、様々なジャンルの音楽演奏者を迎え、随時ミュージアムコンサートを開催します。日程・演者は決まり次第、美術館公式ホームページ及び公式フェイスブックにてお知らせします。コンサートの入場は無料です。

奈良県立美術館



〒630-8213 奈良市登大路町10-6
Tel 0742-23-3968 Fax 0742-22-7032
テレフォンサービス 0742-23-1700

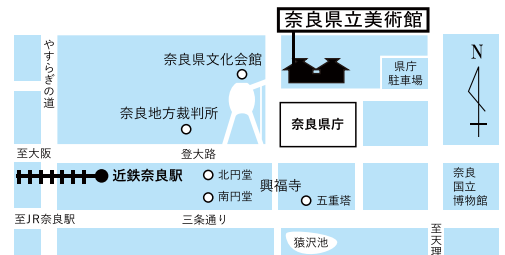
奈良県立美術館ファンクラブメール会員募集中!

詳しくは美術館公式ホームページで:

<http://www.pref.nara.jp/11842.htm>

<https://twitter.com/ArtmuseumN>

<https://www.facebook.com/narakenmuseum>



- 近鉄奈良駅①番出口から徒歩5分
- JR奈良駅から奈良交通バス「県庁前」下車

次回展覧会予告

みやびの色と意匠

公家服飾から見る日本美(仮称)
2020年7月25日(土)—9月22日(火・祝)

平安時代に完成した公家の装束。
その歴史と特色から
日本の美意識を見つめなおします。

関西から

